

## 信仰の友の救出

ユダの手紙17～25節

12 /  
6 (土)

疑いを抱く人たちを憐れみ、火の中にいる人たちを引き出して救い、……。(22、23)

偽教師たちが教会を荒らし回っていたために、教会の中には福音の真理に対し「疑いを抱く人たち」がありました。これに対しユダは、「疑いを抱く人たちを憐れみ、火の中にいる人たちを引き出して救い」と勧めます。見捨てたり諦めてしまうのではなく、迷える羊をどこまでも捜し求められた良き牧者なる主イエスに倣つて、彼らを憐れみ、神のさばきの火から救い出すのです。「引き出して」という言葉は、新改訳では「つかみ出して」と訳されています。これは強制的に滅びの道から引き戻す態度を表しています。主イエスこそ、私たちを憐れみ、ご自身のからだを火の中に投じることによつて、私たちを滅びの火の中から救い出してくださいました。この主イエスの命をかけた愛と恵みによつて救われた者たちは、愛する信仰の友を憐れみ、滅びから救い出そと努めるのです。